

二〇〇三(平成一五)年度 研究所報告

一 組 織

所 長 兵藤 一夫

主 事 織田 顕祐

委 員 延塚 知道(文学部長)

藤坂 初裕(事務局長)

池上 哲司(大学院文学研究科長)

小谷信千代(短期大学部長)

禿 憲仁(学生部長)

寺林 脩(入学センター長)

木場 明志(真宗総合学術センター長)

並木 治(教授・フランス文学)

若槻 俊秀(教授・中国文学)

二 研究組織

(指定研究)

真宗学事研究(チーフ 神戸和磨)

清沢満之研究

研究課題 『清沢満之全集』の編纂と思想研究

研究員 神戸 和磨(キヤップ・教授・真宗学)

嘱託研究員

延塚 知道(教授・真宗学)

沙加戸 弘(教授・国文学)

加来 雄之(助教授・真宗学)

一楽 真(助教授・真宗学)

久木 幸男(横浜国立大学名誉教授)

今村 仁司(東京経済大学教授)

清沢 聡之(清沢満之自坊西方寺住職)

寺川 俊昭(本学名誉教授)

小野 蓮明(特別任用教授・真宗学)

西本 祐撰(博士後期課程在学)

富岡 量秀(博士後期課程在学)

日野 圭悟(博士後期課程在学)

義盛 幸規(博士後期課程在学)

真宗学事史研究

研究課題 『真宗学事史関係資料の整理と公開』

研究員 安富 信哉(キヤップ・教授・真宗学)

東館 紹見(専任講師・日本史学)

平野 寿則(専任講師・日本史学)

嘱託研究員 福島 栄寿(真宗大谷派教学研究研究所研究員)

江上 琢成(本学非常勤講師)

安藤 弥(本学任期制助手)

研究補助員 加藤 基樹(博士後期課程在学)

森 剛史(博士後期課程在学)

国際仏教研究 (チーフ Robert F. Rhodes)

国際真宗学研究

研究課題 「近代教学思想研究」

研究員 Robert F. Rhodes (キャップ・助教・教授・仏教学)

渡辺 啓真 (助教・倫理学)

木越 康 (助教・真宗学)

井上 尚実 (専任講師・真宗学)

嘱託研究員 羽田 信生 (毎田周一センター所長)

Jan Van Bragt (南山大学名誉教授)

Mark L. Blum (ニューヨーク州立大学助教)

Paul Watt (マボウ大学教授)

伊東 恵深 (博士後期課程在学)

斉藤 研 (博士後期課程在学)

仏教・他宗教比較研究

研究課題 「仏教とキリスト教の比較研究ならびに『教行

信証』の独訳」

研究員 門脇 健 (キャップ・教授・宗教学)

宮下 晴輝 (教授・仏教学)

Albrecht Decker-Cornill (教授・ドイツ文学)

木越 康 (助教・真宗学)

村山 保史 (専任講師・西洋哲学)

嘱託研究員 寺川 俊昭 (本学名誉教授)

箕浦 恵了 (本学名誉教授)

大河内了義 (本学非常勤講師)

小川 直人 (本学非常勤講師)

藤枝 真 (近畿大学非常勤講師)

研究補助員 岡本 敦之 (博士後期課程在学)

仏教文献研究 (チーフ 木村宣彰)

西蔵語文献研究

研究課題 「北京版西蔵大蔵経目録のデジタル化」

研究員 福田 洋一 (キャップ・助教・教授・仏教学)

白館 戒雲 (教授・仏教学)

三宅伸一郎 (専任講師・チベット学)

嘱託研究員 Steven Hartwell (Multiscript Solutions

International, Paris, France)

野村正次郎 (本学研修員)

研究補助員 中島小乃美 (博士後期課程在学)

都 真雄 (博士後期課程在学)

パリー語文献研究

研究課題 「大谷大学所蔵貝葉写本 Panthasajataka の校

訂・翻訳」

研究員 吉元 信行 (キャップ・教授・仏教学)

荒牧 典俊 (特別任用教授・仏教学)

嘱託研究員 山本 和彦(専任講師・仏教学)
田辺 和子(東方研究会研究員)

敵部 俊也(名古屋大学大学院助教)

Peter Skilling (Curator, Fragile Palm Leaves, PTS)

長崎 法潤(本学名誉教授)

研究補助員 舟橋 智哉(博士後期課程満期退学)

清水 洋平(博士後期課程満期退学)

漢訳文献研究

研究課題 「大谷大学所蔵稀観漢文仏教典籍の調査と公開」

研究員 木村 宣彰(キヤップ・教授・仏教学)

一色 順心(教授・仏教学)

織田 顕祐(助教授・仏教学・研究所主事)

山野 俊郎(助教授・仏教学)

梶浦 晋(京都大学人文科学研究所助手)

采翠 晃(本学非常勤講師)

藤谷 昌紀(本学任期制助手)

現代思想研究(チーフ 草野 顕之)

大谷大学DB研究

研究課題 「大谷大学におけるデータベースの基礎構築」

研究員 草野 顕之(キヤップ・教授・日本史学)

片岡 裕(教授・情報工学)

松川 節(専任講師・人文情報学)

山本 貴子(専任講師・図書館情報学)

柴田みゆき(専任講師・コミュニケーション論)

赤尾 栄慶(京都国立博物館主任研究員)

箕浦 暁雄(本学任期制助手)

有松 志保(博士後期課程在学中)

〔一般研究/共同研究〕

研究課題 「『十門弁惑論』の研究」

研究員 一色 順心(代表者・教授・仏教学)

大内 文雄(教授・東洋史学)

織田 顕祐(助教授・仏教学)

米田 健志(本学研修員)

長谷川 慎(本学非常勤講師)

采翠 晃(本学非常勤講師)

研究論題 「石刻史料から見た近世中国仏教の社会史的変遷に関する基礎研究」

研究員 桂華 淳祥(助教授・東洋史学)

松川 節(専任講師・人文情報学)

西尾 賢隆(花園大学教授)

嘱託研究員 藤原 崇人(任期制助手)

研究課題 「レッシングの戯曲と宗教的啓蒙精神の研究」

研究員 友田 孝興（教授・ドイツ文学）

吉田 孝夫（専任講師・ドイツ文学）

芦津かおり（専任講師・英文学）

〔一般研究／個人研究〕

研究課題 「中世から近世にかけての名所和歌の研究」

研究員 赤瀬 知子（助教・国文学）

研究課題 「カマラシーラ著『中観の光』の和訳研究とその

critical textの製作」

研究員 一郷 正道（教授・仏教学）

研究課題 「ビートルズの研究」

研究員 米本 義孝（教授・英文学）

三 指定研究の動向

真宗学事研究

「清沢満之研究」では、昨年度に引き続き『清沢満之全集』（岩波書店）の刊行と、それに関連する諸作業を行なった。

『全集』は、今年度は第六巻から第九巻までを刊行し、完結した。あわせて全九巻の校正作業を実施して正誤表を作成し、第九巻の月報に掲載した。また西方寺所蔵の諸資料、および

全集刊行にかかわる原稿・校正刷などの整理を行なった。そのほか、『全集』に収録しなかった自筆資料の整理検討、新資料の調査収集などに従事した。

「真宗学事研究」では、学事関係資料の整理・保存、およびその公開を課題とした。前者では、旧「大谷大学近代史研究」から引き継いだ明治以後の一次史料を整理しつつ、保管の方法について具体的に検討した。また後者では「大谷大学百年史 資料編別冊 戦時体験集―「学徒出陣」・「勤労動員」の記録―」を刊行し、戦時体制下における本学の状況を知るための基礎資料を作成することができた。

国際仏教学研究

「国際真宗学研究」では、①海外仏教関係出版物を収集すること、②国際的視野に立った研究会を開催し、ならびに国際学会へ研究者を派遣すること、③大谷派における近代真宗教学者の代表的著作を英訳すること、の三点について研究活動を進めた。①については、雑誌の受け入れは順調であったが、書籍ではやや滞りがちであった。②では、ドイツで開催されたマールブルク大学神学部との研究交流会、およびアメリカ・カリフォルニア大学バークレー校を会場として開催された国際真宗学会に研究員を派遣し、研究発表等を行なった。③では、すでにこれまで清沢満之・曾我量深・金子大栄・安田理深という四人の教学者について、そのいくつかの著作を英訳しているが、今年度はマーク・ブラム、ポール・ワット

の両先生を囑託研究員に迎え、解説文の執筆、訳語の調整、注の作成などを行ない、また数回にわたって研究会を開催した。

「仏教・他宗教比較研究」は、①親鸞の諸著作を中心とする浄土思想文献をヨーロッパ語に翻訳すること、②研究者の相互交流およびその場の提供をはかること、を柱として活動を進めた。中心となったのはドイツ・マールブルク大学神学部との研究交流であり、四月二十九日から五月四日まで、マールブルク大学において第三回大谷大学・マールブルク大学学術交流シンポジウム「世俗化からの挑戦に直面する仏教とキリスト教」を開催した。また、第二回・第三回の学術交流の記録として、『仏教とキリスト教の対話II—浄土真宗と福音主義の信仰』・『仏教とキリスト教の対話III—浄土真宗と福音主義の信仰』を法蔵館より刊行した。

仏教文献研究

「西蔵語文献研究」は「北京版西蔵大蔵経総目録のデジタル化」をテーマとし、チベット語、サンスクリット語タイトル、各版のテキスト所在情報のデータを構築、オンライン検索の Web ページを開設した。しかし、データに修正を要する点が数多くあることが判明したので、公開を延期し、校正作業をおこなうこととなった。この目録電子化作業の際に、各種テキストのコロフォン（奥書き）を確認する必要があるため、コロフォンのテキストを入力してデータベース化する

ることとなり、カンギル・タントラ部約七〇〇テキストについて作業を完了した。その他、Machintosh 上でのチベット語システム Tibetan Language Kit を改良する試みや、チベット語文献読書の開催、学外・海外研究者との交流、などの活動をおこなった。

「パリー語文献研究」は、大谷大学図書館が所蔵する膨大な南方仏教貝葉写本の中で、特に稀覯文献と思われる『バンニャーサ・ジャータカ』を対象として継続的に行なってきた体系的・文献的研究の最終年度として、大谷貝葉に含まれる二六のジャータカ全ての transliteration を完成させ、その成果を *‘Pāṇṭisajātaka Thai Recension Nos. 12-18, 22-39 kept in the Otani University Library Transliteration from Manuscripts in Kinnier Script’* として本研究所から出版した。

「漢訳文献研究」は、日本中世の南都法相宗を代表する高僧、解脱房貞慶の『法華開示抄』をとりあげた。本学図書館には『法華開示抄』の四種の写本が所蔵されており、それらの特色と意義とを明らかにするために、既刊の活字本を含めて、主として奥書と調巻とに注目して比較・整理を試みた。その結果、既刊の活字本には二つの系統が存在すること、本学所蔵の写本の中には、既刊活字本では未見の系統の古写本と、既刊活字本の一系統の親本と想定される本とが含まれていること、などが明らかとなった。

現代思想研究

「大谷大学DB研究」は、昨年度に引き続いて、本学におけるデータベース構築の根幹をなすデジタル画像の制作に向けて、研究および実作業をおこなうとともに、文化財のデジタル化およびその提示方法に関する諸問題を検討した。具体的には、「清沢満之研究」班が西方寺で撮影してきた三五ミリポジフィルムに移管を受け、高精細スキャンおよびデジタル化作業をおこない、ひとまず完了をみた。一方、北京版チベット大蔵経の撮影については、撮影室が響流館内に移転したことに伴い、湿気除去および振動防止の対策が必要となったため、作業が中断している。そのほか、本学所蔵の北里蠟管研究のための整備を行なった。

四 『研究所報』の刊行

第四二号（四月一日発行）

真宗総合研究所の役割

二〇〇三年度「指定研究」研究組織一覧

二〇〇三年度「指定研究」研究目的紹介

二〇〇三年度「一般研究」選考結果発表

二〇〇三年度「一般研究」研究目的紹介

二〇〇一年度「指定研究」研究経過報告

二〇〇一年度「一般研究」研究結果概要

彙報

兵藤 一夫

第四三号（十月一日発行）

「大学史研究」の必要性

二〇〇二年度「指定研究」研究経過報告

二〇〇二年度「一般研究」研究結果概要

海外学界等参加報告

客員研究員報告

彙報

神戸 和麿

執筆者紹介

一色 順心 本学教授

赤瀬 知子 本学助教授

藤谷 昌紀 本学任期制助手

延塚 知道 本学教授

韓 普 光 韓国・東国大学校教授

李 道 業 韓国・東国大学校教授

鄭 早 苗 本学教授

一郷 正道 本学教授

ピーター・スキリング

前大谷大学真宗総合研究所嘱託研究員

パトリック・葉研究所(バンコク) 所長

タイ・チュラロンコン大学客員講師

畝部 俊也 前大谷大学真宗総合研究所嘱託研究員

名古屋大学大学院文学研究科助教授

米本 義孝 本学教授